



# 天ダムNEWS

国土交通省 天竜川ダム統合管理事務所

[News Release](#)

<http://www.cbr.mlit.go.jp/tendamu/>

‘16/2/19

## 3 / 3 (木)「第3回 小渋ダム土砂バイパストンネルモニタリング委員会」開催

現在小渋ダムでは「小渋ダム土砂バイパストンネル」を平成28年度中の試験運用開始をめざし鋭意施工中です。施設の運用方法等を検討するため昨年から表題の委員会を設置しており、第3回目の委員会を名古屋市において下記により開催します。

委員会の傍聴を希望する方は下記により申し込みをお願いします。

開催日時：3月3日(木) 9時30分 受付開始  
10時00分 ~ 12時00分

開催場所：安保(あぼ)ホール 301号室  
(名古屋市中村区名駅3-15-9)

※傍聴を希望の方はfax又はメールで2月29日までに事前申し込みをお願いします。席に限りがありますのでなるべくお早めをお願いします。(30席程度)

fax 0265-88-3697

メール tendamu@cbr.mlit.go.jp

本記事に関するお問い合わせは、『副所長:片桐、管理課長:竹内』までお願いします。

国土交通省 天竜川ダム統合管理事務所

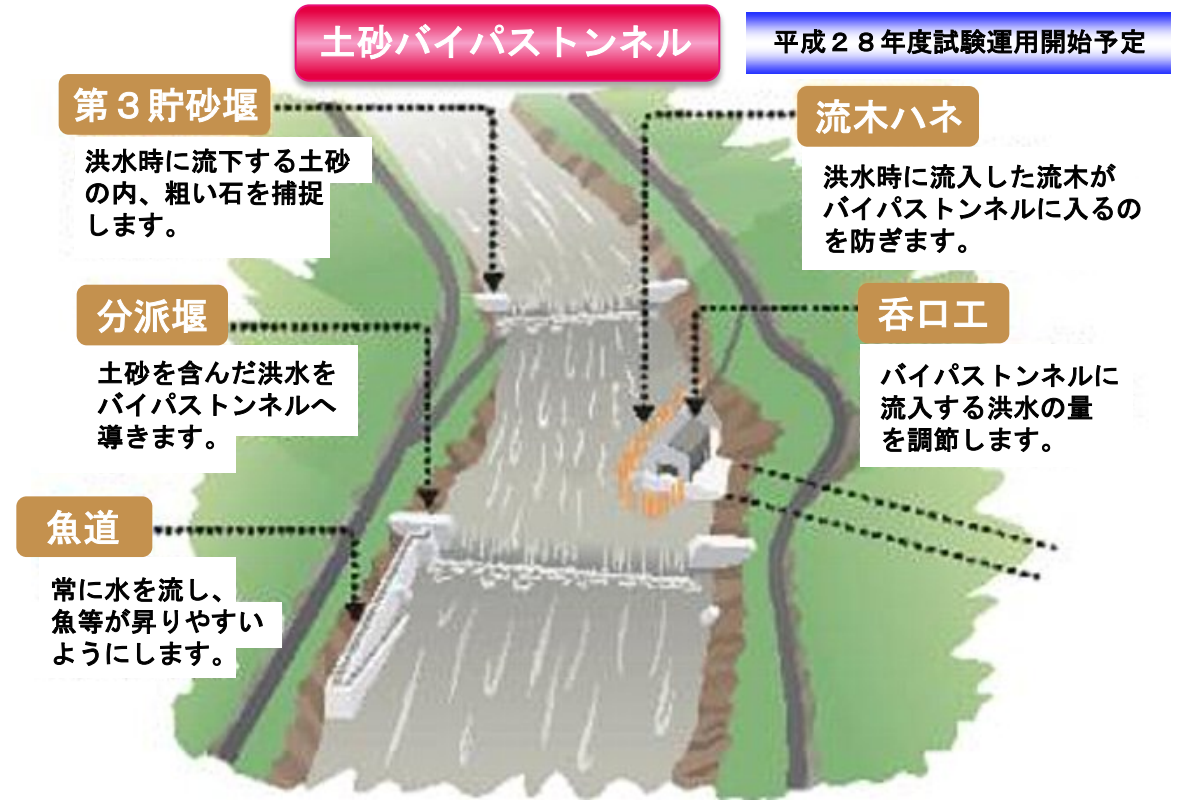
〒399-3801 長野県上伊那郡中川村大草 6884-19

Tel(0265)88-3729 Fax(0265)88-3872

○同時配布 伊那市記者クラブ、飯田市記者クラブ、駒ヶ根市記者クラブ

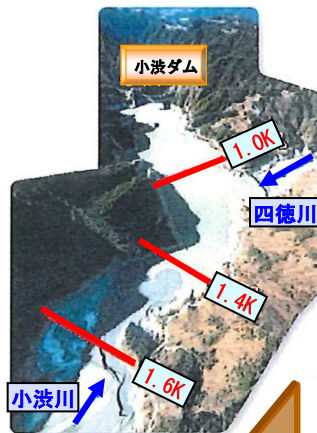
小渋ダムは、洪水調節、かんがい、発電を目的とする多目的ダムとして昭和44年に管理を開始した高さ105mのアーチ式コンクリートダムです。

ダム貯水池に貯まった土砂の掘削の他に、大量の土砂を含んだ洪水を、ダム貯水池を経由せずに土砂バイパストンネルでダム下流河川に流す等の堆砂対策を実施しています。



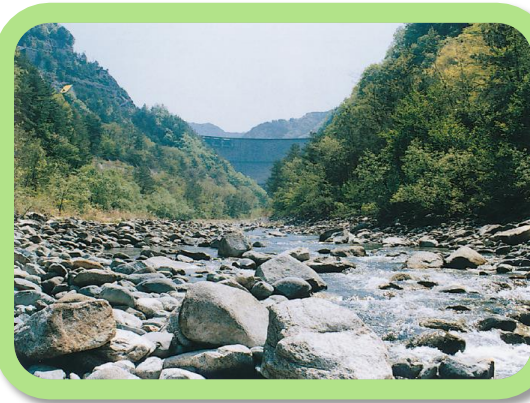
## ☆課題 1

S57・S58洪水に代表される多量の土砂流入により、貯水池の土砂堆積が進行しています。貯砂ダムに溜まった土砂を掘削してきましたが、このままでは、ダム機能が維持できない恐れがあります。



## ☆課題 2

土砂がダムに止められてダム下流に流れなくなったため、川底が下がり、大きな玉石ばかりの見た目が単調な川へと様子が変わってきています。



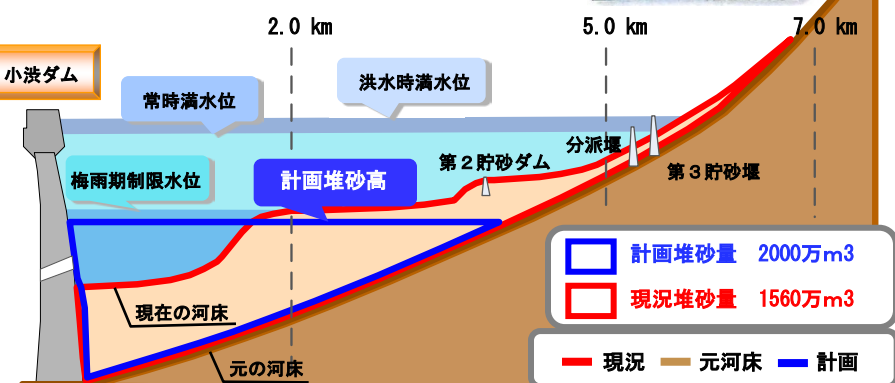
## 土砂バイパストンネルの目的

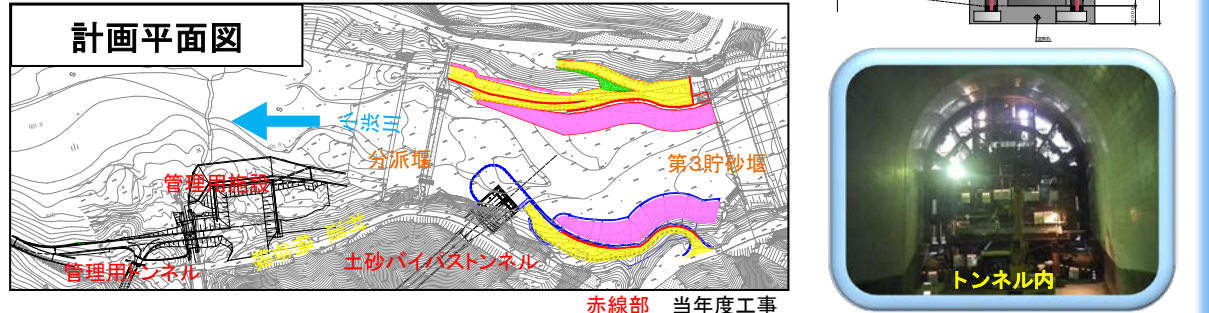
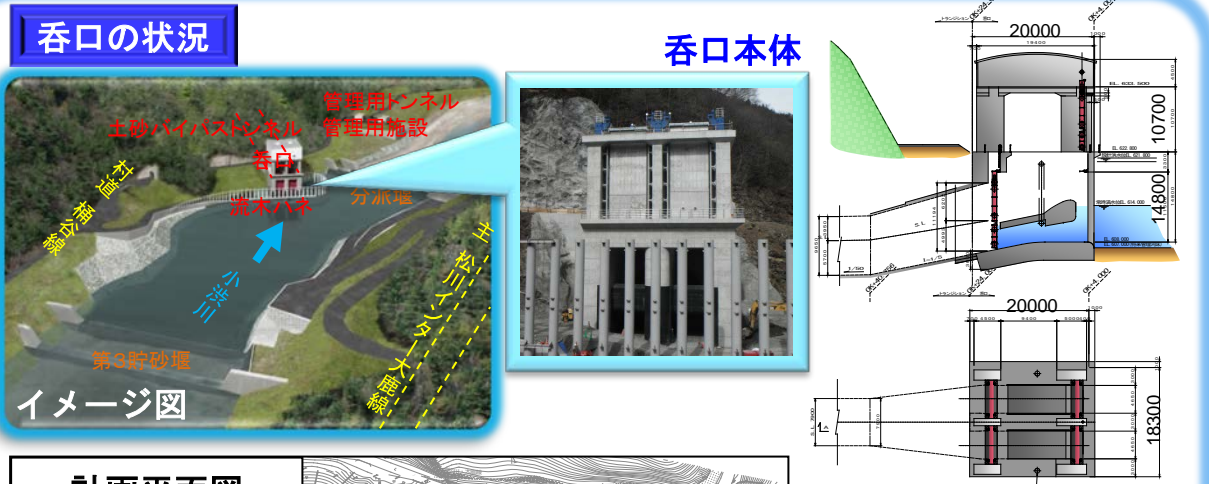
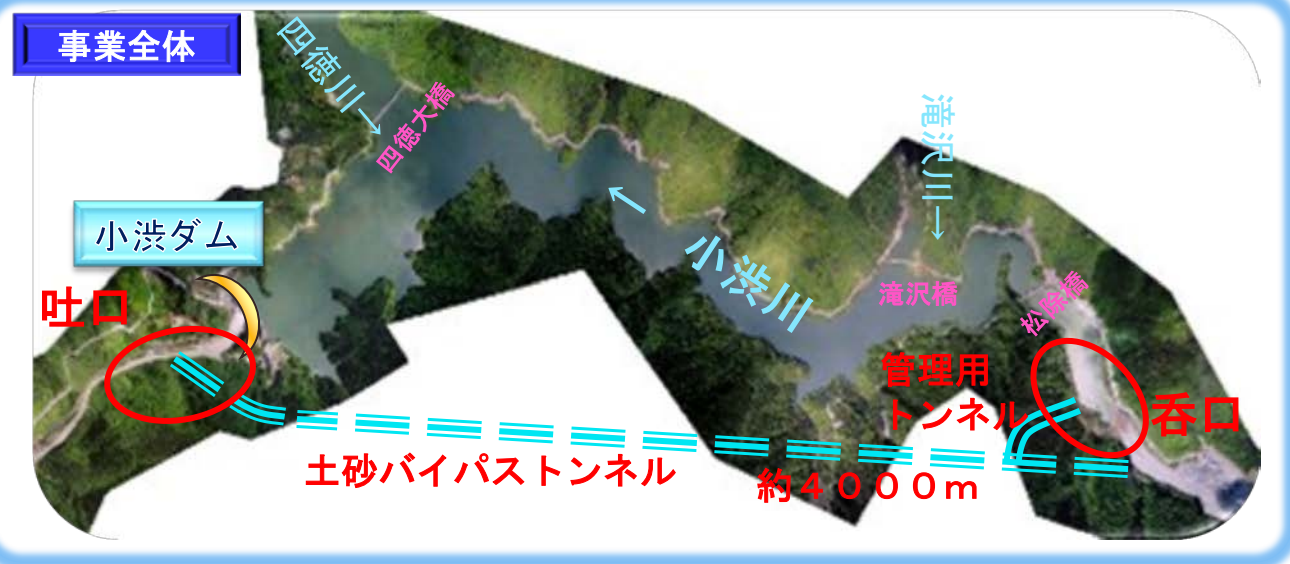
大量の土砂を含んだ洪水を、ダム貯水池を経由せずに、土砂バイパストンネルでダム下流河川に流すことで、以下の目的を達成します。

- ①ダム貯水池の堆砂進行を抑制します。
- ②ダム下流河床の粒度分布を改善します。  
(大きな石ばかり状態から砂等も混じった状態にします。)

## 土砂バイパストンネルの機能

大量の土砂を含んだ洪水をダム貯水池を経由せずに下流河川に流します。





事業概要

事業区分	堰堤改良事業
河川名	一級河川 天竜川水系 小渋川
事業名	小渋ダム土砂バイパストンネル事業
事業箇所名	長野県下伊那郡大鹿村 ～長野県上伊那郡中川村
全体事業費	14,380百万円
事業化年度	平成12年度

事業の経緯

平成21年 3月20日	トンネル工事着手
平成21年 8月 1日	本坑 掘削 着手
平成24年 3月30日	本坑 貫通
平成24年 1月28日	管理用トンネル 完成
平成25年 9月16日	本坑 3,944m 完成 呑口本體工 完成
平成26年 7月	流木ハネ 着手
平成26年 8月	本坑 残54m 覆工着手
平成27年 3月	呑口 開閉装置 完成
平成27年 10月	本坑 残54m 完成予定 流木ハネ 完成予定
平成28年度	試験運用開始 予定

トンネル概要

計画放流量	370m <sup>3</sup> /s	
トンネル (本坑)	形式	一般部 馬蹄型 呑口部に一部幌型
	延長	約4,000m (3,998m)
	断面	平均 61.6m <sup>2</sup>
	高さ	7.20m
	幅	7.90m(底幅6.56m)
トンネル (管理用)	形式	幌型
	延長	170m
	高さ	5.15m
	幅	4.00m
	コンクリート強度	18N/mm <sup>2</sup>

